

様式

鶴ヶ島市附属機関会議録

【開催概要】

会議名	令和6年度 新町小学校・西中学校合同学校運営協議会
日時	令和6年9月6日（木曜日） 15時00分～17時10分
場所	西市民センター 第2会議室
出席委員	（新町小学校） 武田 和子会長（兼）、高橋 裕一委員、忍足 順子委員、 中里 由架利委員（兼）、上原 悦子委員、田邊 昭子委員、 安保 聡美委員（兼）、安野 修司委員（兼）、荒幡 光宏（校長） （西中学校） 武田 和子委員（兼）、佐藤 清治郎委員、中里 由架利委員（兼）、 井上 晋委員、涌井 智昭委員、井上 隆委員、安野 修司委員（兼）、 安保 聡美委員（兼）、宮本 薫委員、真武 公司（校長） ※（兼）新町小・西中 兼務
欠席委員	佐藤 克則委員、萩原 基雄委員、鈴木 眞治委員
事務局	斎藤 隆教頭（新町小）、鈴木 紀子教頭（西中）、 市川 実事務主幹（西中）、三浦 芙美代事務主幹（新町小）
議題	新・鶴ヶ島中学校の「学校教育目標」「目指す学校像」等にかかる熟議
配布資料	資料1 令和6年度 新町小学校・西中学校合同学校運営協議会次第 資料2 鶴ヶ島市立新町小学校だより「明日への希望」第1～6号 資料3 鶴ヶ島市立西中学校だより「希望の花」第1～4号 資料4 西中インフォメーション3枚 資料5 （新）鶴ヶ島中学校開校に向けた取組について 資料6 新・鶴ヶ島中学校の「学校教育目標」「目指す学校像・生徒像」 にかかる熟議 資料7 西中学校での防災訓練の実施について（協力者募集）
公開・非公開	公開
傍聴人数	0人
会議要旨	（挨拶） ・会長、各校長が挨拶を行った。 （報告事項） ・各教頭が新町小学校・西中学校の児童生徒の学校での活動状況を報告した。 ・学校教育課再編担当が（新）鶴ヶ島中学校開校に向けた取組について報告した。 （協議事項） ・現在の新町小学校と西中学校の児童生徒・地域の強みと弱みを分析し、新・鶴ヶ島中学校の「学校教育目標」「目指す学校像・生徒像」のキーワードについて4つのグループに分かれて熟議を行い、全体で共有した。

【挨拶】

〈会長〉出席者への謝辞を述べた。

〈新町小・校長〉

- ・学校だよりを元に子どもたちの成長やそれを伸ばしていく取組について説明した。

〈西中・校長〉

- ・学校だよりについて説明するとともに、学校再編や小中合同で取り組むことの大切さを説明した。

【報告事項】

〈新町小・教頭〉

- ・1学期は諸問題があったが、2学期に入り落ち着いてきた。
- ・下校後の遊び方に課題がある。学校で呼びかけていくが地域の方にも注意して見守ってくださるようご協力いただきたい。
- ・暑い中でも、子ども達は元気に遊んでいる。
- ・校外学習でも見守っていただけるとありがたい。
- ・不審者情報を警察と共有した。パトロールや見守り活動にご協力を願う。

〈西中・教頭〉

- ・生徒は落ち着いて生活できている。
- ・3年生は受験に向けて集中力が増している。
- ・2年生は新人戦や次期生徒会を控え、日々の生活も学習も落ち着いている。
- ・1年生は大きな声で挨拶ができており、積極性を示している。
- ・2学期の始業式での生徒の代表挨拶に成長が表れている。
- ・自分達で考えて行動できる場面が増えている。
- ・毎日ホームページを更新しているので、成長を見てほしい。

〈委員〉気温の高い日が続いているが、体育はできているか？体育館で行っているのか？

〈西中・校長〉熱中症アラームを各担当者に持たせ、記録を取って行っている。運動量を減らしたりクールダウンをさせてから下校させたりしている。

〈新町小・校長〉外の熱中症アラームや児童の健康状態を確認してから行っている。体育館も暑いので、同様に判断している。

〈委員〉小学生が市民センターに来て、ゲームやカードをしたり走り回ったりしている。騒いでいる際はその都度注意している。お菓子のゴミを置きっぱなしで帰る子もいた。ロビーにゴミ箱を設置したところ、捨ててくれる子が増えた。少しずつ今後に期待している。

〈委員〉どのような注意をされているか？

〈委員〉みんなが使う場所だからゴミを置きっぱなしにしないでゴミ箱に捨てようねと促すように注意している。本当に危ないことをしたときは強めに注意している。

〈委員〉先日市民センターに行った際、そこにいた子ども達が鬼ごっこを始めてテーブルに土足で上がっているのを見て、私は大きな声で怒った。母親としての立場から注意をした。時にはそういうことも必要だと思う。市民センターの方々にはいつも感謝している。

〈委員〉この夏、児童館ではどうやったら子ども達に伝わるかいろいろ考えさせられた。児童館

は0歳から18歳の子やいろいろな地域の人が集まる場であるが、小学生のトラブルが多かった。市民センターも児童館も見守っていくが、地域の方も見逃さずに注意して、子ども達に社会のマナーを学んでほしい。地域で支えていくことが大事である。

〈委員〉学童では外の水道水がお湯で出てきてしまうほど暑く、外遊びをさせてあげることが出来なかった。一方、クラフト加工等の室内遊びが充実したりお金の使い方の講座や災害の備えや災害時の調理法の講座で学んだりした。体力を付けさせてあげたいが体力の発散先が限られていることが来年の課題である。市民センターや児童館に行く際は係の人の言うことを聞くように話しているが、今後も周知していく。

〈再編担当〉(新) 鶴ヶ島中学校開校に向けた取組について説明した。

・新しい制服及び体操服のデザインが決定した。令和7年度入学生から販売。在校生(現在の中学1・2年生)も希望があれば購入可。既存の西中学校、鶴ヶ島中学校の制服も当面の間は購入可。

・通学体制等検討専門部会の委員を募集している。専門部会では、「道路通行上の安全」及び「防犯上の安全」の観点から、通学ルートや危険箇所について、実際に徒歩及び自転車にて点検を行う。その結果、信号の設置やスクールゾーンの指定等を警察等へ要望提出を行うか検討する。専門部会は令和6年10月頃から年5回程度を予定している。募集人員は、(新) 鶴ヶ島中学校区の児童・生徒の保護者等10人程度を募集している。現在2名の応募があった。

・学校施設の校舎は教職員や生徒に意見を聞きながら詳細な設計をまとめている。来年度から工事が始まり令和9年4月の開校と合わせて新しい校舎でスタートする予定。グラウンドについては今年度の夏休みから工事を行っている。通学路については西中学校区からの通学者の増加を想定し、計画的に整備を進めている。西中学校の南側から高倉通りに抜ける道については、木が生い茂って道路が暗くなっているため今年度と来年度で段階的に伐採していく。

・学校再編までの両校の事前交流は学校行事や部活動を通じて両校で検討を進めてもらっている。両校の開校式、(新) 鶴ヶ島中学校の開校式は、地域の方や卒業生の方等のお力をお借りして実行委員会の組織を立ち上げて進められないか検討を進めている。

〈再編担当〉通学体制等検討専門部会の委員を公募しているが、現在2名の応募である。お子さんの安全に係わることなのでなるべく保護者の意見を取り入れたいと考えている。特に新町小学校、西中学校の学区の方々には新しい通学路を通して学校に通うことになるので、ぜひこの学校区の保護者の方には多くの方に委員になってほしいと考えているので、お近くの方にお声がけいただき、ご協力いただければと思う。

〈委員〉樹木の伐採をしてもらうのは安心だが、全く日影が無くなるのは夏場が心配である。

〈再編担当〉夕方や天気の悪い日の暗さが心配されており、20本から30本伐採し、光を入れる予定である。明かりが不十分なので安全対策として防犯灯をつける。木陰としては使えると考えている。現在、ボランティアの方や地域の方に子どもたちの登下校の安全を見守っていただくということをやっている。地域の方の目が届かない所で防犯カメラを使うことの検討を始めるところである。子ども達の通学上の安全、熱中症、全体のことを考えていきたい。

〈委員〉自転車通学の範囲を知りたい。

〈再編担当〉駐輪場は最大480台用意できる。長久保小と新町小の全員が大体自転車通学が可能。台数的には鶴ヶ島中学校を中心に1km越えた家庭で可能ではないかと考えているが、最終的には学校の判断である。全校生徒数は開校当初で600人、令和10年度は600人ちょっと、それ以降は少しずつ減っていくので、いずれは全校生徒が自転車で通えるようになっていくと思われる。

〈委員〉防犯上危険な所もあるので、自転車通学の範囲について興味のある保護者も多いと思う。

〈会長〉見通しがよくいつでも逃げられるような道路だと良い。多くの方から意見を聞いて安心で安全な通学路にしてほしい。

〈委員〉西中から高倉に抜ける道は狭いので広くするのは必要だと思う。ゆくゆく西中の跡地に何かの施設が入る時に、つるバス、つるワゴンが入ってきてバス停を作るのか、バスは通らなくても市民の方が入ってきて、昔野球部が練習していた辺りが駐車場になって車の出入りのメインがそちらになる一つのアイディアを聞いたことがある。そうなると通学路というより市の施設に入ってくる大事な正面の道路になるので、大々的にきれいにしてもらいたい。防犯カメラがあるに越したことはないが、通学路という観点よりもゆくゆく市の施設になるという観点で道路の作り方を考えていただければ、車も通れ、自転車の安全な道路も確保されているというのが出来たら理想だと思う。

〈再編担当〉例えば、信号機の設置等、整備をすればするほど交通量が増える。防犯上は人目がつくので良いのかもしれないが、交通事故のリスクが高まる。西中の跡地は基本構想というビジョンを作っている状況である。どういった内容がよろしいでしょうかとコメントをいただく機会もあると思う。令和10年度にオープンを予定している。市の施設のある所の交通環境や通学路を総合的に判断していく。通学路として交通量が増えるのであれば信号機は本当に必要なのか、歩道はどうか、街灯の数はこれで良いのか等、来年度までに伐採等をし、他の道路も整備していく中で、総合的に皆さんに見ていただきたいのが先ほどの通学体制等検討専門部会である。市の方の施策の中での話もさせていただきまして、市民の方からご意見をいただければより良いものができるのではないかと部会である。部会に限らず意見を募集していく予定である。

〈会長〉アンケートがあるのは知っている。西中の跡をどのようにしたら良いのかについてアンケートをしてくださいという書類が西市民センター1階にある。ぜひ見て意見を言ってもらえればと思う。再編担当の方は暑い中道路を見て一生懸命考えてくださっており感謝している。

〈委員〉一つ心配しているのが、一生懸命考えた道路をどれくらいの生徒が使うのだろうか。一丁目と城西大の合宿所の裏の生徒ぐらしか使わないのではないだろうか。

〈会長〉ぜひ部会に入っていていただいて貴重な意見を言ってほしい。

〈再編担当〉学校教育課にお電話をいただいても構いません。部会ではないのでご意見伺わないとかこういう機会でないとか伺わないということではない。電話やメールでもご意見をお寄せいただければと思う。

【協議事項】

新・鶴ヶ島中学校の「学校教育目標」「目指す学校像・生徒像」にかかる熟議

〈西中・校長〉子ども達にどういう教育をしていこうかという根幹になる新しい鶴ヶ島中学校の目指すものを皆さんで考えてみよう。皆さんそれぞれの理想をざっくばらんに無謀に語っていただきたい。まずは、現在の子ども達の様子、地域の様子について強みと弱みを考えてみる。新・鶴ヶ島中学校の基本理念は「未来を創り出す力を育む教育に求められる『生きる力』の育成を目指し、他者との協働により、これまでの伝統を大切にしながら、加速度的に変化する社会の中で未来を創造できる人材を育成する学校を目指す。」である。一番大切なのは「これからの未来を創造できる人材の育成」ということである。これから生きる子ども達にどんな力を付けられるか、そのためにはどんな学校にすれば良いのかということである。西中・新町小の子ども達が暮らしている地域としてこんな課題があるということなので、新しい鶴ヶ島中学校でこんなことができれば良いんじゃないかというキーワードを出してほしい。それを元にして鶴ヶ島中学校、

西中学校でいろいろなことを一緒に進めていってるので新しい学校の教育目標に反映させていければと思う。夏休みに新町小の先生と西中の先生で同じようなことを行った。先生達が考える子ども達をこんな風にしたいというのをこちらは持っているので、今度は地域の皆さんで考えていただきたい。

4つのグループに分かれて熟議を行った。

〈グループ1〉

子ども達の強み

- ・挨拶を気持ちよくしてくれる。
- ・新しいデバイスを使いこなしている。
- ・自らすすんで自主練をしている。

地域の弱み

- ・運動のできる所が少ない。
- ・街灯が少ない。
- ・道路が狭い。
- ・遊びに行く時の一人一人の安全性の面で心配。

目指すキーワード

- ・勉強も頑張る。
- ・スポーツも頑張る。
- ・それに必要な力としてここに書かれている力が礎になっていくと思う。

〈グループ2〉

子ども達の強み

- ・小、中一貫校として9年間同じ学年で子ども達が過ごす醍醐味がある。
- ・元気よく挨拶ができる。
- ・小さい学年の子を思いやる姿を見られる時がある。
- ・いろいろな行事を通して仲間意識を持てる。
- ・どこでも遊びの場に変えられる。遊びの天才。

子ども達の弱み

- ・自分の気持ちが前に出過ぎて、相手の気持ちを考えられないことがある。
- ・自分の思っていることを素直に伝えられない。
- ・今いる場所に適した行動をとれる成長が見られると良い。

地域の弱み

- ・学校に関係する地域の組織の横の繋がりが希薄。
- ・地域と学校のコミュニケーションが弱い。

目指すキーワード

- ・地域の自治会、健全、支え合い協議会、PTA、学校応援団の連携を密にする。あるいは、別々に独立せず、統合も視野に入れて地域との結びつきを強くしたい。
- ・これからは多様化で持続可能な時代にしていかないといけない。
- ・自分達で意見を言い合って、熟議していく、自分達で作り上げる学校。
- ・プレゼン能力を高める。
- ・多様性を考える。
- ・受け入れること。自分の思いも伝えられること。

- ・自分達で作上げたものを後輩に引き継げる持続可能な未来にすること。
- ・地域との係わりに中学生もたくさん参加してもらえたら地域も活性化する。
- ・中学生と一緒に地域を盛り上げていく。
- ・防災の時に中学生の力が重要な力になると思う。

〈グループ3〉

子ども達の強み

- ・宿題を頑張っている。
- ・頭が良い子が突出している。
- ・思いやりがあって仲間同士仲が良い。
- ・元気の有り余っている子が多い。

子ども達の弱み

- ・コミュニケーション能力が低く、言葉で自分の気持ちをうまく伝えられない。
- ・すぐに疲れたと言う。

地域の強み

- ・見守り活動をしている。

地域の弱み

- ・本質的な子どもの姿が見えているだろうか。
- ・大人も子どもも日常的に楽しめる事や場、地域伝統の行事が無い。

目指すキーワード

- ・自分で考える力はこれからもつけてほしい。
- ・コミュニケーション能力をつけてほしい。
- ・大人も子どもと一緒に楽しめる事や場で、子どもの本質を知ってもらえる機会が作れるといい。

〈グループ4〉

子ども達の強み

- ・教えてもらうことは嫌ではない。
- ・おっとりした雰囲気。
- ・褒められるとより褒められようと努力する。
- ・認められたい気持ちが強く、認められた時に力を発揮する。
- ・体を動かすことが好き。活発に遊んでいる。

子ども達の弱み

- ・勉強はあまり好きではない。
- ・家で復習しないので、学力が高くなっていかない。
- ・コミュニケーション能力が低い。
- ・相手の気持ちを考えて行動することが苦手。
- ・出来ないことに粘り強く取り組むことが苦手。
- ・常に疲れているように見える。

地域の強み

- ・遊ぶ場所が豊富。
- ・広い土地がたくさんある。

地域の弱み

- ・家庭のしつけに差がある。
- ・子どもの行動に関心がある、ないの差が大きい。
- ・学校教育への興味は薄い。
- ・顔の見える関係があまり出来ていない。

目指すキーワード

- ・自分で学んでいける子。
- ・他者の気持ちや立場を理解して、言葉を発したり行動したりできるようになってほしい。
- ・たくさん運動して体づくりをしてほしい。
- ・地域の防災訓練とか地域が学校と一緒にやる行事ができたら良い。
- ・子ども、保護者、地域が共にやるイベント。
- ・中学校の交流フェスティバルに期待。
- ・地域力の向上。

〈西中・校長〉本質をついている意見がたくさん出て、新しい学校に向けての示唆に富んだご意見をいただいたと思う。これを持ち帰り、鶴ヶ島中学校の谷ヶ崎校長先生と共にいろいろ考えていければと思う。

【その他】

〈意見交換〉

〈委員〉オーバードーズの学生についてドラッグストアから学校に情報が行っていればよいがどうなっているのだろうか。そういうことがあった時に早めに情報をもらえるようにしておくのも一つの手ではないだろうか。

〈委員〉近くの薬屋ではなく遠くの薬屋に買いに行く子もいるようだ。

〈連絡〉

〈西中・教頭〉11月16日に地域支え合い協議会を中心としてこの地域の防災訓練を行う。地域が一つになって、その担い手として中学生が活動できるように防災訓練を西中学校で行う。現在役員を募集中である。

〈西中・校長〉地域の防災訓練に西中学校の生徒が全員係わっていく。それが続いていけば西中が無くなっても、この地域にいる中学生が防災訓練に係わり、地域の担い手となっていけるだろうという趣旨で始めている。手探りで始めている状況なので、多くの協力者をいただきたい。